



## EPSデジタルシェア株式会社

# 「EPSグループ会社統合に伴う情報基盤整備をADMSでスタート」

EPSデジタルシェア株式会社では、EPSホールディングス株式会社を中心としたグループ会社の統合に伴う情報基盤統合化に向けて、そのID管理整備にADMS IDMを利用しています。ADMS IDMを導入した経緯とその導入効果を基盤システムセンター基盤システム部ご担当者様に詳しくお話を伺いました。



写真提供: EPSデジタルシェア株式会社

### 社名

EPSデジタルシェア株式会社

### ユーザー数

無制限ライセンス(7700ユーザー)

### URL

<https://www.eps-digitalshare.co.jp/>

## Point

- 経緯** EPSグループ会社統合後、情報基盤整備についてHOUSEI株式会社様へ相談。ゼロトラストを意識した基盤統合の入り口としてID管理の整備から着手する提案を受け、検討を開始しました。
- 導入** IDマスタ情報のフォーマット整形の柔軟さ、製品の利用ユーザーレンジの規模感、UIのわかりやすさ、加えて導入工程における弊社側負担が少ないことや導入プロセスの明確さ、追加の個別要望に対する開発に応じていただけたことなどが評価でき、導入することを決めました。
- 効果** Active Directoryの設定を直接せずともADMSから設定可能になるなど、管理者としての煩わしい操作が不要となり、導入前と比べて作業工数を3分の1に削減でき、ミスも減らすことができました。

**導入サポート企業** HOUSEI株式会社

## EPSデジタルシェア株式会社 プロフィール

EPSグループのIT領域を担う企業として2006年に誕生したEPSデジタルシェアは、グループの医薬品開発における豊富な経験と技術力を活かし、「臨床試験支援システム(EDC)」の開発・販売をはじめとした臨床系IT事業、グループ内の基幹システム開発、インフラ構築などを担ってきました。

そうした歴史で培ってきた高度なIT技術を使い、現在は、ITインフラ、基幹系システム、業務改善などにおける支援と人事、総務、経理、営業事務などのシェアードサービスの提供に特化することで、EPSグループ全体の成長を支えています。

## 導入の背景について

EPS グループ会社統合後、EPS ホールディング株式会社よりグループ会社の統一化された情報基盤の整備を行うよう指示があり、2019 年より検討を開始しました。グループ全社での「ゼロトラストセキュリティ」を念頭に HOUSEI 株式会社に相談し、セキュリティ / ネットワークの整備の現状分析より入りましたが、社員のメールアドレスも統合できていない現状があったため、まず ID 管理基盤の整備を始めることから実施することになりました。統合 ID 管理対応の製品候補は、ジインズ社の ADMS IDM、Microsoft 社製品、クラウド製品など5製品ほどを検討していました。

## 製品決定理由

製品選定にあたり、いくつかの評価ポイントがありました。

1 つ目はマスタ情報の取り込みにおける柔軟度です。ID のマスタ情報ソースが各社様々であったため、そのフォーマット整形など柔軟に対応できることが必須でしたが、ADMS IDM はその柔軟性が非常に高く、高評価となりました。

2 つ目は安心感のある提案をいただけたことです。段階的に統合を進めていくために、必要となる機能開発を含めた詳細かつ3期に渡る長期間の工程計画を提示いただいたことも高く評価しました。

3 つ目は製品の規模感がマッチしていたことです。ADMS IDM は当社に適したレンジを選びやすかった点も評価しました。

総合的な評価から ADMS IDM を選定しました。

## 導入効果について

定期的な組織改正にかかる大規模な業務の作業工数を三分の一程度に削減でき、管理業務を効率化させることができました。また煩わしく感じていた操作も対応しやすくなり、作業ミスの防止や業務品質の向上にもつなげられました。中でも Active Directory を直接操作することなく、ADMS IDM で設定が可能になったことや、更新情報を Active Directory へ即時反映ができるようになったことは、管理者の負担削減に大きく貢献しています。また、データ連携前に反映させる内容を事前に ADMS で確認できることは、ミス防止につながっています。加えて、グループ会社により「ユーザー数」や「組織改編頻度」、「対応規模」が異なる状況がある中、各社各様に併せた柔軟な対応ができることも大変助かっています。

## 弊社サポートについて

要件ヒアリングから運用開始までの導入全工程において一気通貫で対応していただけたことに感謝しています。特に、仕様検討、手戻りがあったときの対応などは、非常に細かく寄り添っていただき、その対応の丁寧さを最も高く評価しています。また導入期間がスケジュール的に厳しい状況でしたが、スピード感ある対応をしていただけたことも感謝しています。

その他導入事例や製品のご紹介はこちら

<https://adms.jins.co.jp/> または

ADMS 検索

 株式会社 ジインズ

本社 / 開発センター

〒406-0846 山梨県笛吹市境川町三柵301

TEL : 055-269-8780 FAX : 055-240-1200